

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 97 号

発行日 令和 6 年 3 月 31 日

発行人 山 岸 渡

TEL・FAX 026-244-5165

浅川地区男女共同参画推進講演会開催される

2月18日（日）「浅川地区男女共同参画推進講演会」が女性13人を含む30名余が出席して開催され、昨年に続いて長野県立大学グローバルマネジメント学科長築山秀夫教授による「地域社会における男女共同参画～他の地域の共同参画事例に学ぶ」と題する講演が行われました。

大学における学生達の地域貢献活動の紹介に続いて、人口減少・高齢化が地域に及ぼす深刻な影響について報告がありました。（衝撃的な数値でした！→下記）

こうした地域の現状の中で「地方では男性が跡を継ぎ、女性の方が多く流出する傾向がある」、「性別による“無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）”が若年女性を流出させる」と指摘。

自治会長に占める女性の割合が全国平均で6.3%に対し、長野県では1.8%（47都道府県中46位）という現状であり、男女共同参画（ジェンダーギャップの解消）を進めなければ、地域社会も郷土も存続できないではないかと強調されました。（総務環境部会・人権啓発委員会）

〈浅川地区における人口減少・高齢化の現況～講演で掲げられた数字を紹介します～〉

出生数の減少 （1985年）90人 ⇒ （2024年）20人 40年間で77.8%減少

高齢化率の変動 （1985年）9.4% ⇒ （2024年）42.7% 40年間で4.5倍

20歳未満の人口 （1985年）2,726人 ⇒ （2024年）896人 40年間で67.1%減少

全体の人口 （1985年）8,490人 ⇒ （2024年）6,374人 40年間で24.9%減少

※現状を知り、現状に対する「健全な危機感」を持ちながら未来を展望すること



【講演する築山教授】



【会場の様子～質疑応答も活発に！】



第10回浅川地区住民福祉大会開催される！

1月27日（土）浅川公民館大会議室において「浅川地区住民福祉大会」が開催され、約40名のみなさんが出席しました。受付には1月1日に発生した能登半島地震の被災者に対する義援金箱が置かれ、会の冒頭では亡くなられた方への黙祷を行いました。

式典では最初に地域福祉活動功労者として家事援助協力会員として長年に涉りご尽力いただいた岡田哲子さん（神楽橋）と長谷川保さん（浅川団地・当日は欠席）に感謝状が贈呈されました。

記念講演では「障がいのある人もない人も共に生きる社会を目指して」と題して長野県健康福祉部障がい者支援課共生社会推進員の馬場美保さんの講演が行われました。

障がいを理由とする差別は、一人ひとりの障がいに対する知識の不足、意識の偏りが原因となっており、差別のない社会を実現するためには妨げとなる要因を解消し、正しい知識の普及と意識啓発に取り組んで行くことが大切として、出席者への問いかけ、出席者同士の話し合いも交えながらお話をいただきました。

平成28年施行の障害者差別解消法では「不当な差別取扱い」の禁止、「合理的配慮」の提供が求められています。特に障がいのある人から社会的障壁を取り除くために配慮を求められた場合、必要な変更・調整等を行う「合理的配慮」が令和6年から義務化されています。

障がいのある人の“生きづらさ”を解消し、生きにくい社会の仕組み（社会的障壁）をなくしていく一人ひとりの意識と行動が誰もが暮らしやすいような共生社会の実現のため大切だという思いを強くしました。
（福祉健康部会・浅川社会福祉協議会）



【能登半島地震被災者への黙祷、受付では募金も！】



【地域福祉活動功労者表彰・岡田哲子さん】



【馬場美保さんの講演】



【会場の様子】

<福祉大会に参加して>

障がいに対する知識不足や意識の偏りが差別に繋がり、今まで良かれと思い行動してきた事も、会話なしでは誤解が生じます。聞く耳や会話の大切さを改めて感じ、住み良い社会になることを願っています。



荒井 博 美（浅川社協副会長・屋敷田）

若槻・浅川住民自治協議会情報交換会開催される

1月26日（金）、2019（令和元）年に開催して以降、コロナ感染拡大のため休止していた若槻地区との情報交換会（第8回）を4年ぶりで開催しました。



両地区の住自協役員・部長・部会長・事務局長、支所長19名が出席し、自己紹介の後、それぞれの組織体制や事業活動を報告、意見交換を行いました。

浅川地区からは住民自治協議会の組織運営上の課題や主な活動として「まちづくり計画」で取り組んだ浅川ダム周辺整備や「浅川ダム祭」の開催、ブランド薬師の社殿・参道整備の状況等、若槻地区からは自然遺産・歴史遺産を巡るマップの作成や土京川の「ホタルの里」づくり等、また各部長から主な事業活動が報告されました。意見交換は当初の予定を大幅に超えて活発に交わされ、今回は新体制が発足した6月頃開催することを決め会議を閉じました。

終了後の懇親会では和気藹々とした雰囲気の中で時間を忘れて語り合い、隣接地区としてさらに親睦と交流を深めていくことを確認しました。

住民自治連絡協議会理事会開かれる

2月15日（木）長野市役所第2庁舎10階講堂において第42回住民自治連絡協議会が市内32地区の住民自治協議会の会長・事務局長が出席して開かれ、平成27年に発足したこの会議を次年度から「住民自治連絡会議」に改組することが決定しました。平成22年から32地区で住民自治協議会が組織されてから住民自治協議会相互の連携と親睦を図るとともに様々な課題の検討を行ってきた「住民自治連絡協議会」は一定の使命を終えることになりました。また会議では今年度から取り組みが始まった「住民自治リフレッシュプロジェクト」の進捗状況の報告がありました。会議終了後、荻原市長も出席して懇親会も行われました。



浅川ダム周辺利活用懇談会開催される

2月7日（水）「浅川ダム周辺利活用懇談会」が開かれ、今年度の活動経過の報告と次年度の事業内容の検討を行いました。

今年度はコロナ禍で休止や縮小をしてきた活動を再開、「浅川ダム祭」での農産物直売や4年ぶりにダム天端への鯉のぼり掲揚を行いました。また浅川ダムの元残土置き場に拓かれた「浅川葡萄農園」で初収穫されたブドウ（2022年産）で作った初めてのワインをダム内通路で熟成をさせる試みも行いました。



今後の活動については、浅川ダムとブランド薬師を巡る遊歩道の整備や河川敷を活用した新たな試みについての議論が交わされました。

※浅川ダム周辺利活用懇談会は浅川ダム利活用とその周辺の環境整備を行うことを目的に県・市・住民自治協議会で設立、浅川改良事務所が事務局を担当しています。県や市職員、住自協役員・OB、関係団体有志がメンバーとなっています。

4年越しの災害工事完了！ ～北郷竹ノ下～

2020（令和2）年7月の豪雨で亀裂が生じ、以来通行止めとなっていた北郷竹ノ下の道路工事が昨年12月末ようやく完了し通行可能となりました。工事期間中迂回ルートを通っていた「あさかわ号」も通常運行となりました。



【道路に亀裂が！（2020年7月）】



【復旧工事の様子（2023年10月）】



【工事完了（2024年1月）】

良い年であることを願って！～冬の^{よろいだ}鎧田（北郷）に花火が上がった

新年早々能登半島地震が発生、不安な幕開けとなった新年ですが、少しでも明るい話題と良い年への願いを込めて、2月4日（日）「鎧田で花火を上げよう会」（代表：松木栄さん）に「ひまわり会」が協賛して花火の打ち上げが行われました。

例年になく雪が少ない鎧田には地区のみなさんが作った雪のキャンドルが灯り、幻想的な風景の中で真冬の空に花火が美しく浮かび上がりました。



【北郷の夜空に大輪の花が咲きました！】



【雪のキャンドルに明かりが灯り、鎧田が幻想的に浮かび上がりました。】

浅川育成会バレーボール



部員募集中!!

元気に活動中！！

浅川小学校及び浅川地区の児童募集中！！

活動日：毎週 水曜日 17：30～20：00 土曜日、日曜日 8:30～12:00

活動場所：浅川小学校体育館（ご希望の方は見学・体験可能です）

問い合わせ

asakawa.ikusei.volley@gmail.com



活動日：土・日・祝日の午前中

場所：浅川小学校グラウンドほか

合宿などの楽しい行事もいっぱいあるよ！

詳しくは下記連絡先まで、お気軽にお問い合わせください。

小林 ☎ 090-1868-1533

【Instagram】



【ブログ】



共に生きる



香りで認知症予防

～アロマセラピーとマッサージを学ぼう～

浅川公民館
冬期学級



「香り」で認知症の予防ができると話題になっていることはご存じですか？鳥取大学の研究で嗅覚神経を刺激することで、脳の中で記憶や空間認識に関わる海馬という領域の機能が回復する可能性があることが発見されました。

今回の冬期学級では IFA（国際アロマセラピスト連盟）認定アロマセラピストの滝澤玲子さんをお招きし、認知症予防の効果が期待できる香りの種類や日常生活に取り入れやすい使い方を教えていただきました。また、アロマオイルを用いたセルフマッサージにも挑戦！講座内で紹介いただいた香りのほかにもたくさんのエッセンシャルオイルをお持ちくださり、講座後にも参加者はそれぞれお気に入りの香りを探していました。



【たくさんのアロマをお試し】



【自分の手をマッサージ】

令和5年度 アップルキッズ終了

子育て・子育て支援事業として月1回、地域のボランティアの皆さんと未就園児親子さんが集まって開催しているアップルキッズは、今年度もたくさんのお友だちと一緒に活動してきました。令和5年度の活動は2月の「ひなまつり」で終了です。ご協力くださったボランティアさん、ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

次年度は5月から実施予定です。詳しくは地区回覧をご覧くださいね。



たすけあい事業協力会員研修会～認知症世界の歩き方～

地域たすけあい事業の家事援助・福祉移送協力会員が合同で研修会を行いました。

今回の研修では、認知症のある方100名へのインタビューを元に当事者の思いや体験、知恵をまとめて出版された書籍「認知症世界の歩き方」をベースに開発された講座を受講しました。参加型の講座で、出席者のみなさんは積極的に意見を出し合いながら学んでいました。

出席者の ご意見

自身も家族の介護経験があるが、一般的にうまくいくことであっても相手の性格によっては伝わらないこともあると感じることがあった。今回とても勉強になった。

【荒井淳子さん】

ただ講演を聞くだけでなく、こんな研修のやり方があるのだなあと思った。とても楽しかった。

【田島輝子さん】

通り一遍の認知症講座だと思って参加したが、ディスカッションタイプの研修でたまには良いなと思った。仕事で認知症の方と関わったことがあり、講座の内容に「そんなこともあったなあ」と思いました。

【石坂泰恵さん】

（研修用スライドを見て）男性の当事者が多いなあと思った。

【杉森京子さん】

いろいろな方の意見が聞けて良かった。またそれを反映していけば良いと思った。【笠原雄三さん】



浅川にワインの風を！ ～長野市やまざとビジネス支援補助金の審査会について～

【地域おこしの現場から vol. 10】

12月、1月の暖冬から一変、急に冬らしくなった2月も終わり、3月に入り少しずつ春を感じるようになってきました。

年始から開始した剪定作業は順調に進み、今年は仕立ての変更や設備補強、苗木の植え替え及びその前の準備などもあり、5月のシーズン前までに出来る限りの準備を終えるよう急ピッチで作業を進めています。

今秋開業予定のワイナリーは3月中旬より改装工事を開始し、4月完成、5月に醸造機器等を搬入し、9月の醸造免許取得を計画しています。

昨年より準備を進めていた「長野市やまざとビジネス支援補助金」は、お陰さまで二次審査を通過し、ワイナリー開業経費の一部に充てる事ができそうです。ご協力下さった皆様、ありがとうございました。

今年も良いブドウを収穫できるようしっかり取り組んで行きたいと思います。

引き続き浅川の皆様のご支援ご協力何卒よろしくお願い致します。

（元地域おこし協力隊 宋 裕光（同去））



【冬の浅川葡萄農園】

お知らせ

2024（令和6）年度 浅川地区住民自治協議会総会を開催いたします。

日時 2024（令和6）年4月20日（土） 午後2時～4時

場所 浅川公民館2階 大会議室

<出席対象者>

評議委員（2023年度～常任評議委員・区長・構成団体長・顧問～）

※2024年度新区長はオブザーバー出席

広報委員から

～一年を振り返って～



皆様のおかげで無事一年間広報委員長を務めさせていただきましたありがとうございました。

今年度はコロナが5類に移行し、様々な行事が元に戻りつつあるわけですが、今までの4年間、自粛を余儀なくされていたせいか思ったように、元には戻っていないようです。

浅川全体の活動が分かったのも、広報委員をやらせていただいたおかげです。今後は各団体の活動がしっかり元に戻ることを期待しています。

本当にありがとうございました。

竹元数由委員長（安全防災部会・消防分団長）



広報委員、更生保護女性会の一員として、アッという間に一年が過ぎてしまいました。アップルキッズのおやつ作り、社会を明るくする運動等、浅川地区の活動にも参加することができました。広報委員になって初めて知る地区の活動も多く、良い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

藤澤浦子委員（福祉健康部会・更生保護女性会）



育成会では4年ぶりにゆうわ祭で子供コーナーを担当し、たくさんの方にお立ち寄りいただきありがとうございました。

広報委員では活動などたくさんの事を知ることができ良い経験をさせていただきました。一年間ありがとうございました。

高橋咲子委員（次世代育成部会・育成会長）



何も分からないままに「せせらぎ」の編集委員に加わらせていただき、地区の組織や活動そして様々な行事を通じて多くの方々が協力して支えて下さっていることを知り、とてもよい勉強をさせていただいた一年でした。お陰様で無事務めさせていただきましたことを感謝し、また和気藹々とした雰囲気で行われた広報委員会の皆様には心より御礼申し上げます。

菊池道代委員（総務環境部会・白バラ会長）



令和5年度の広報委員を務めさせていただきました、お世話になりました。

地公連の行事では、コロナの制限もなくなったことから予定していたすべての行事を実施することができ、これらの様子を「せせらぎ」の紙面を通じて皆様にお届けできました。

近年では少子高齢化の進展などにより、公民館活動がままならない場合もありますが、地公連の行事は公民館単位でなくとも参加できますので、是非、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

一年間、ありがとうございました。

小林栄子委員（教育文化部会・地公連総括）



今年度は夏にイノシシが数多く獲れていましたが、年が変わって1～2月にシカが多くなりました。雪が少なかったので里へ獣が来なかったのだと思います。獣が里へ出て来なければ人や農作物の被害が少なく助かります。でも油断は出来ません。農作業や山に作業で入る時には気をつけてください。産業振興部会の広報委員として長く務めています、今年も一年間ありがとうございました。

鶴田敏光委員（産業振興部会・猟友会長）

